



おすすめ品種紹介 第46回

全農 営農情報・システム推進室では、生産者にあらためて定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社アンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

たまねぎ

たまねぎを切ると独特の匂いがして涙が出てきます。この涙を催させる揮発成分は、たまねぎに含まれる硫黄化合物が2つの酵素によって変化したものであることが10年ほど前に解明されました。そこで涙を抑える方法として「切る前にたまねぎを冷蔵庫で15分ほど冷やす」「切れ味のよい刃物を用いる」「包丁やたまねぎの切り口を水で濡らす」「電子レンジで軽く熱を加えてから切る」「素早く切る作業を終える」などの方法があります。調理前のちょっとした手間と素早い調理が大切です。

青切り、貯蔵兼用の中生品種



ヒーローZ カネコ種苗(株)

5月中旬の収穫に向く中生品種。甲高の豊円形で、淡赤褐色で皮付きがよい。食味は多汁で甘くコクがある。生食用としては貯蔵性に優れ、11月まで貯蔵可能。根は強く、旺盛に生育するため、栽培しやすい品種である。

🌱 栽培のポイント 🌱

播種は一般地で9月20日前後が適期で、早まきは分球・抽だい、遅まきは小玉の原因となる。追肥は2月下旬までとし、品質の低下を防ぐ。球の肥大のために病害虫を防除し、球肥大期に生葉10枚を確保する。

収量・貯蔵性が期待できる大球早生品種



アイドルじゅんこ (株)サカタのタネ

球の肥大がよく、大球に仕上がる早生品種。球は偏円腰高で、1球平均300g。りん片の枚数が早生品種のなかでは多く、早生種としては球締まりもよい。生育は旺盛で、根量も多い。根張りがよく、定植直後の初期生育が安定しやすい。

🌱 栽培のポイント 🌱

草勢は後半型であり、定植初期がおとなしい。春の陽に変わり、日長が長くなるにつれ、草勢も強くなる。球伸びは、倒伏後も多少期待ができる。収穫サイズによって青切りの選択も可能。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
ヒーローZ	秋まき	暖地					■	■	■			○		▼
		一般地					■	■				○		▼
		寒冷地						■			○		▼	
アイドルじゅんこ	春まき	北海道・東北		○	○	▼	▼		■	■				
	秋まき	寒冷地					■	■			○	○	▼	▼
		温暖地					■	■			○	○	▼	▼
ジェットスター	秋まき	寒冷地			栽培困難									
		一般地					■	■			○	○	▼	▼
		暖地					■				○			▼

○：播種 ▼：定植 ■：収穫

●問い合わせ先 カネコ種苗(株) 種苗部 TEL.027-251-1611 (株)サカタのタネ お客様相談室 TEL.0570-00-8716 ナント種苗(株) 営業部 TEL.0744-22-3351

抽だい・分球が少ない早生F₁



ジェットスター
ナント種苗(株)

暖地では4月下旬、一般地では5月上旬から収穫。美しい球形。球重300 g前後でよく揃う。抽だい・分球・腐敗が少なく、出荷率が高い。サクサクした食感

はサラダ生食に最適。

栽培のポイント

草勢が強いので、基肥重視の栽培ではなく、追肥型の管理が望ましい。播種適期は、関東では9月10日頃、一般地では9月20日～25日頃、西南暖地では9月30日頃。無理な早まきは抽だいを誘発させるので注意する。

高貯蔵性の美味しい中晩生多収種



キーパー808
(株)渡辺採種場

秋まき用中晩生多収種。皮張りがよく、長期の貯蔵が可能で、機械収穫・調製

にも適している。辛みが少なく甘みがあり、生食用としてもおすすめ。苗の揃いがよく、生育は旺盛、草姿は立性で、葉折れが少なく栽培しやすい品種。

栽培のポイント

根張りがよく、生育が旺盛なので、秋まき移植栽培だけでなく、秋まき直播栽培にもおすすめ。春まき栽培には適していない。過度な多肥や、遅い追肥、収穫遅れは貯蔵性を低下させるので留意する。

豊円球で肥大性のよい極早生品種



極早生そだちFA
丸種(株)

暖地では3月下旬から収穫できる極早生F₁品種。甲高の豊円球で、肥大性に優れ、球重300 g程度でよく揃う。抽

だい・分球・裂球が少なく、秀品率が高い。糖度が高く、食味に優れ、サラダ用として生食に適する。

栽培のポイント

播種、定植とも適期に行う。極端な早まきや大苗での定植は、抽だい・分球の発生につながるので留意する。十分な球の肥大を確保するため、定期的な防除を行い病害の発生に注意する。

発色・食味のよい中生赤たまねぎ



ルヴァン
渡辺農事(株)

辛味が少なく、食味に優れた中生の赤たまねぎ。球形はやや扁平で、1球重320 gほどによく揃う。外皮は濃い赤

色となり、球の中心部までよく発色する。生育が旺盛で、分球の発生が少なく、つくりやすい。

栽培のポイント

播種適期や苗の植え付け適期を守る。適期より早すぎると越冬前に大苗となり、抽だいや分球のリスクが高くなる。適期より遅すぎると球の肥大が不足する。追肥は時期を逃さず遅れないように注意する。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
極早生 そだちFA	秋まき (早春どり)	暖地				■	■					○		
	秋まき (春どり)	一般地	○	○	○	○	○	○	■	■			○	○
キーパー808	秋まき (移植栽培)	寒冷地									○	○		
	秋まき (直播栽培)												▼	▼
	秋まき (移植栽培)	一般地							■	■			○	○
	秋まき (移植栽培)	暖地							■				○	○
ルヴァン	秋まき	寒冷地									○	○		
		一般地							■	■	■		○	○
		暖地							■	■	■		○	○

○：播種 ▼：定植 ■：収穫 ○：トンネル